

令和6年度2学期終業式校長講話

こんにちは。長い2学期、勉強に、クラブ活動に、生徒会活動にと皆さんそれぞれ忙しかったことと思います。お疲れ様でした。

講話の内容はできるだけ皆さん自身に関する話題を話したいと思っておりますが、今日の話の出だしは他の高校の話題になりますが、許して欲しいと思います。先日行われた全国高校駅伝では長野東高校と佐久長聖高校が優勝しました。全力を出し切る姿、仲間をタスキをつないでいく姿に、見る人は感動を覚えたと思います。

また、今年の夏のクイズ番組、「高校生クイズ」に諏訪清陵高校が出場し、ベスト4まで残りました。高校生たちがクイズに真剣に取り組み、力を合わせて問題を解いていく、困難を乗り越えていく姿には、見ている多くの人が感動したと思います。番組パーソナリティの指原莉乃さんらも目に涙を浮かべていました。

でも、これって、高校生の皆さんには日常だよな、と思います。努力して、協力して、困難を乗り越えるというのは、テレビで取り上げられるかどうかの差はあるものの、皆さんにとっては日常の事だと思います。皆さんは様々な事に真剣に取り組み、努力し、仲間と協力して困難を乗り越えています。クラブ活動でも、生徒会活動でも、勉強でも、努力と協力が成果と感動を生んでいます。この2学期、この1年間、皆さんは様々な事に取り組み、力を合わせて成果を残してきました。

さて、これからの冬休み、特に3年生の皆さんは受験直前の勉強に入りますが、普段と違って自宅での学習が続く人も多いと思います。時に孤独に思うかもしれません。力を合わせて、という事とは程遠く感じるかもしれませんが、同じクラスの人たち、同じ講座の仲間たちも頑張っているのだと思い、それを励みに乗り越えて欲しいと思います。

この2学期、全国的にインフルエンザなどの流行があり、学校によっては学級閉鎖や休校がありました。本校ではそのような事はありませんでした。昨年、一昨年も本校はコロナによる閉鎖が少ない学校でした。特に受験期の3年生にはうつさない、という事が良くできていました。健康に留意し、インフルエンザなどをはやさせない、というのも「長野吉田の総合力」の一つだと思います。冬休み中も健康に留意し、元気に3学期を迎えて欲しいと思います。講話は以上です。